

(様式1-2)

## I 学校の概要

学力向上モデル校事業 (外国語教育推進モデル校事業)

直島町立直島中学校

### ◆学校の特色

近年、直島は「現代アートの島」として世界の注目を集め、国内外から多くの観光客を迎えるようになり、日常的に外国人を見かけるようになってきている。そのような中、生徒たちは、異なる文化や考え方をもつ人々と交流していく機会が多くなっている。

直島町では、昭和63年度から町独自に外国語指導助手 (ALT) を雇用して英語教育に取り組み、平成23～25年度の3回、文部科学省指定研究開発学校として研究を推進し、平成28年度からは、教育課程特例校として外国語の時間を増やして英語教育に取り組んできた。また、「話す・書く」の2技能を中心に発話と書くこととのつながりを大切にした英語活動の取組や、その発表のためにタブレット端末を積極的に活用しながら、互いに学び合う学習を通して、直島の特色ある教育活動である英語教育を元に、郷土を愛する心を育むこともめざしている。

## II 研究主題等

研究主題

「コミュニケーション能力と豊かな国際感覚の育成」  
～即興性のあるやり取りと ICT を活用したペア・グループ活動の実践を通して～

### ◆研究主題設定の理由

本校では、幼児学園・小学校で培ってきた英語力を基礎に、教育課程特例校として英語教育の実践を重ねている。ICT を活用したペア・グループ活動、即興性を取り入れた言語活動の実践とともに、自分の思いを言葉や態度で表すことができるコミュニケーション能力を身に付ける授業の実践を行ってきた。さらに、県内のALT を直島に招く「Meet the World」のような実践的に英語を使う場を設け、英語で発信する力を高めている。加えて、昨年度は本研究の指定を受け、研究を重ね2回の公開授業を行った。昨年度の実践では、海外の同年代の生徒とのリアルな交流が、生徒たちへの大きな刺激となった。単元の学習が実践に結びつく実感が生まれ、生徒も教員も目的やゴールが明確となり学ぶ意欲につながった。しかし、会話を広げていくこと、自分の意見を持って相手につなげていくことに関しては課題が残された。

今年度は、今度こそと意欲的な生徒の思いを実現させるために、日々の授業でどのように力を付けさせていくのかを考え実践していく。その中で、生徒たちの変容と成長の経過を追っていき、更に英語教育を推進するとともに、コミュニケーション活動の価値を他校に発信していきたい。

### ◆研究内容及び方法

- ① 即興性のあるやり取りやペア・グループ活動等での ICT の有効な活用法について
- ② 学習者用デジタル教科書や即興性のあるやり取りを通して、音声と文字を関連付けるための効果的な手立てについて
- ③ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や国際感覚を養うことができるような ALT との対面による交流、オンラインによる国際交流の在り方について

## III 成果の評価計画 (検証方法)

- ・全国学力学習状況調査や英検 IBA 等で、該当する項目の実態と成果を確認する。
- ・「Meet the World」や「オンラインによる国際交流」等の学習活動を通して、既習事項をもとに自身の語彙力を駆使しながら、相手に自分の考えや思いを伝えられるよう取り組んでいたかどうか検証する。
- ・授業アンケートや「Meet the World」「オンラインによる国際交流」の事後アンケートを実施することで、生徒の変容や学習の成果を記録し、今後の研究に生かす。

## IV 研究成果の普及方法

オンライン国際交流に向けての授業、または交流本番の授業について、2回公開授業を行う。公開授業では、本研究の取組を紹介するだけでなく、各校の意見や取組について交流する場にする。また、香川の教育づくり発表会では、2年間にわたる生徒の成長・変容を含め、研究の成果や課題を発表したいと考えている。直島幼小中合同研修会の中でも本研究の成果や課題を共有し、さらに連携を深めていきたいと考えている。